

体育会学生の就職活動状況調査(2019年3月)

2019年4月

弊社では、体育会学生の就職活動状況を明らかにするため、「アスプラ2020」利用中の学生にアンケートを行いました。

【調査概要】

調査対象：『アスプラ2020』に登録している体育会学生

回答件数：199件

調査方法：インターネット調査

調査期間：2019年3月6日~13日

【TOPICS】

▽3月時点でのインターンシップ参加率は約8割

▽体育会学生のエントリー社数は「10社」が分かれ目

▽3月時点での体育会学生の内定率は10.5%

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。

資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報担当

Tel: 03-5937-8460 (受付時間: 9:00~18:00/土日祝日を除く)

Mail: athlete2020@asupura.com

◆OBOG訪問の状況

OBOG訪問をした学生は2019年3月度は27.1%と、12月(13.9%)1月(22.0%)2月(20.2%)と比べて過去1番多い数字結果が出ました。「部活動の先輩や部活動関係者からの紹介でOBOG訪問を行っている」という声を聞きます。

OBOG訪問の状況

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
0名（訪問するつもりはない）	13.9%	19.1%	28.4%	32.7%
0名（これから訪問したい）	68.3%	53.0%	47.3%	37.2%
0名（これから訪問する予定がある）	3.9%	5.9%	4.1%	3.0%
1名	5.7%	9.3%	6.2%	8.5%
2名	3.0%	4.2%	5.1%	4.5%
3名	0.9%	3.0%	2.7%	6.0%
4名	0.9%	1.3%	1.0%	3.5%
5名以上	3.5%	4.2%	5.1%	4.5%
OBOG訪問をした	13.9%	22.0%	20.2%	27.1%

◆インターンシップの参加状況

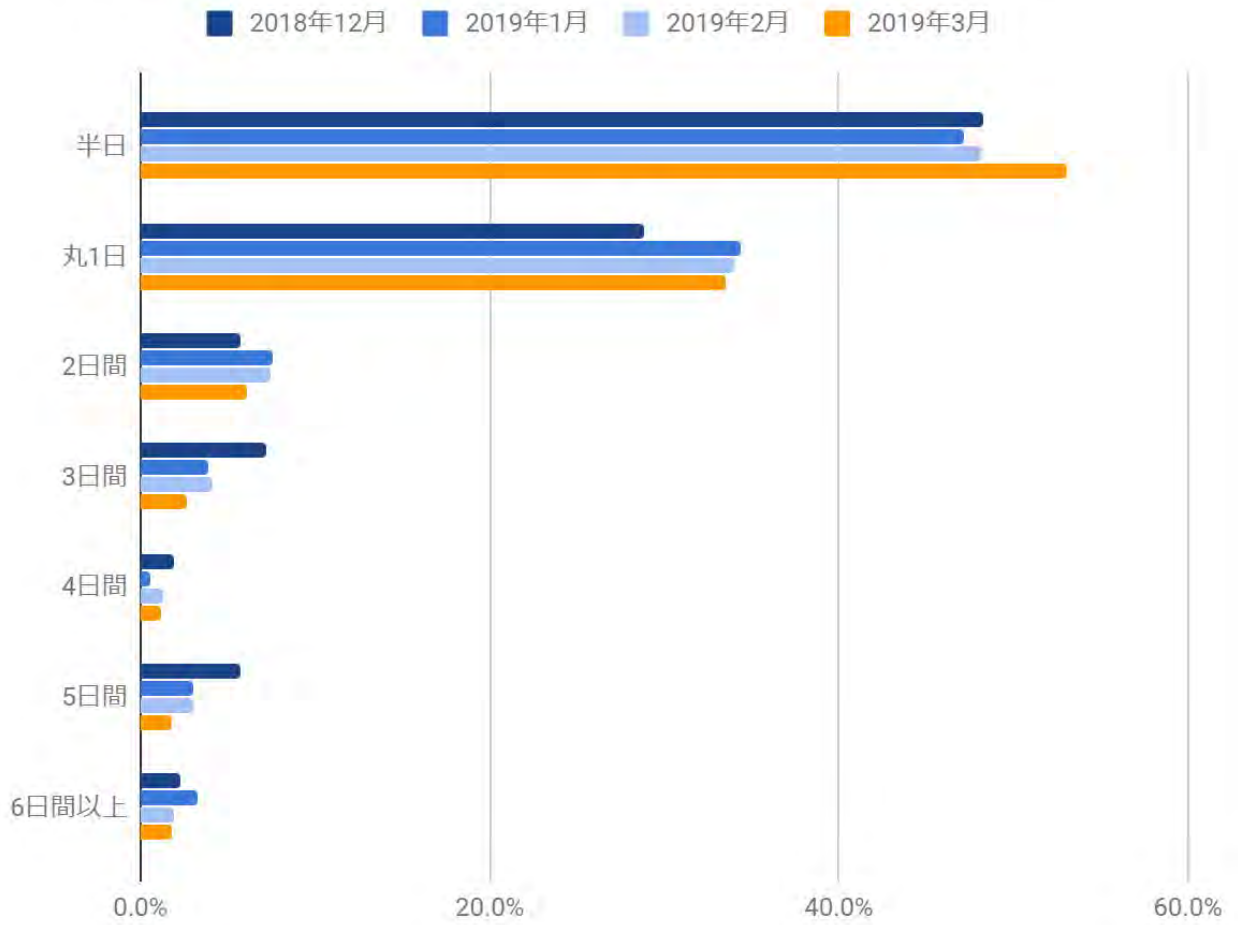
インターンシップの参加経験がある学生が全体の約8割にのぼり、多くの学生がインターンシップに参加していることが分かります。中でも「5社以上参加した」と回答する学生の割合が最も多く、今後学生が就職活動を進める中で選考を受ける企業を選択するために多くのインターンシップに参加していることが考えられます。また、「0社(参加するつもりはない)」が「0社(これから参加したい)」を初めて上回りました。インターンシップに参加したいと思っている体育会学生が一定数いるものの、既に説明会や選考を受けているため、インターンシップに参加する予定が少なくなっているのではないかと推測されます。

インターンシップ参加日程については「半日」「丸1日」と回答した学生が変わらず多く、部活動との両立を行うために参加するインターンシップも選んでいることが考えられます。

インターンシップ参加社数（これまでに参加したものすべて）

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
0社（参加するつもりはない）	6.5%	7.6%	8.2%	12.6%
0社（これから参加したい）	29.6%	20.3%	13.0%	6.5%
0社 （これから参加する予定がある）	13.5%	13.1%	9.2%	1.0%
1社	17.4%	19.5%	16.4%	18.6%
2社	11.7%	11.4%	13.0%	13.6%
3社	9.6%	10.6%	13.4%	12.1%
4社	3.5%	5.5%	6.2%	9.0%
5社以上	8.3%	11.9%	20.5%	26.6%
1社以上参加済み	50.5%	58.9%	69.5%	79.9%

いつ、何日間のインターンを受けたか



◆就職活動状況

○合同企業説明会・個社説明会の参加状況

合同企業説明会の参加について、（体育会限定の合同企業説明会含む）複数回参加する学生の割合が大きくなりました。大学生全体での合同企業説明会の参加回数が2.6回(※)だったことに比べ、今回のアンケートでは「3回~5回」と回答した体育会学生が半数以上を占めました。合同企業説明会は1回参加することで複数の企業を見ることができるため、普段部活動との両立で忙しい体育会学生には合同企業説明会は企業を知るうえで有効な手段だと考えられます。しかし、今後説明会や選考が入ることからこれ以上の伸びが期待されないことが考えられます。

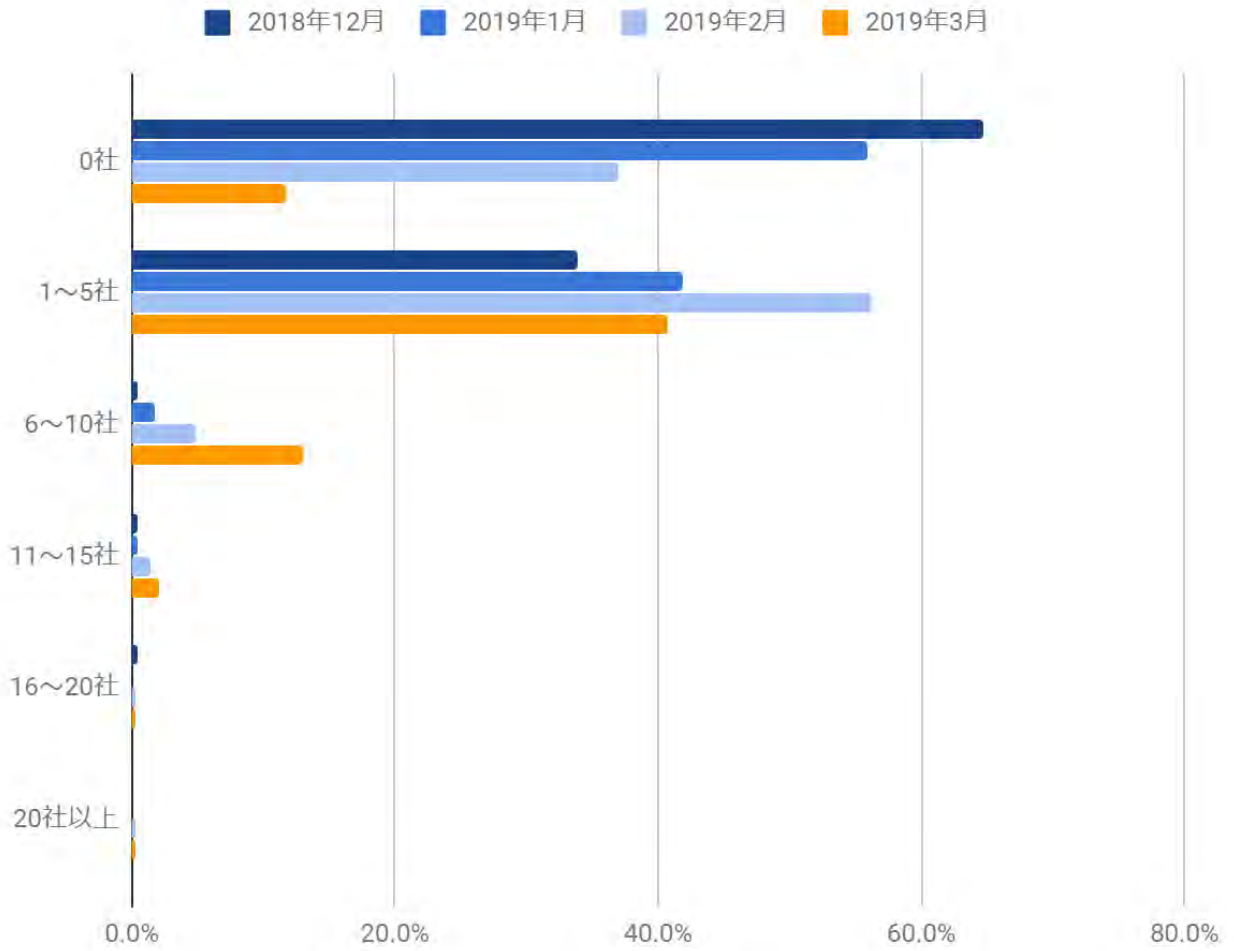
個社説明会の参加についても、合同企業説明会の参加数と比例して増加しました。3月1日の情報解禁により個社説明会に参加し、情報収集していることが考えられます。

(※) 『キャリアタス就活 2020 学生モニター調査結果(2019年3月発行)』

合同企業説明会の参加数

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
0回	27.4%	22.0%	7.9%	4.5%
1回	27.0%	20.8%	16.4%	7.0%
2回	21.7%	21.6%	21.6%	10.6%
3回	13.9%	14.8%	18.5%	23.1%
4回	7.0%	9.3%	13.7%	14.6%
5回	2.2%	5.9%	11.0%	18.6%
6回	0.4%	3.0%	5.1%	6.0%
7回	0.0%	0.8%	1.4%	5.0%
8回	0.4%	0.4%	0.3%	2.5%
9回	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
10回以上	0.0%	1.3%	4.1%	7.5%
複数回参加	45.7%	57.2%	75.7%	88.4%

個社説明会の参加数



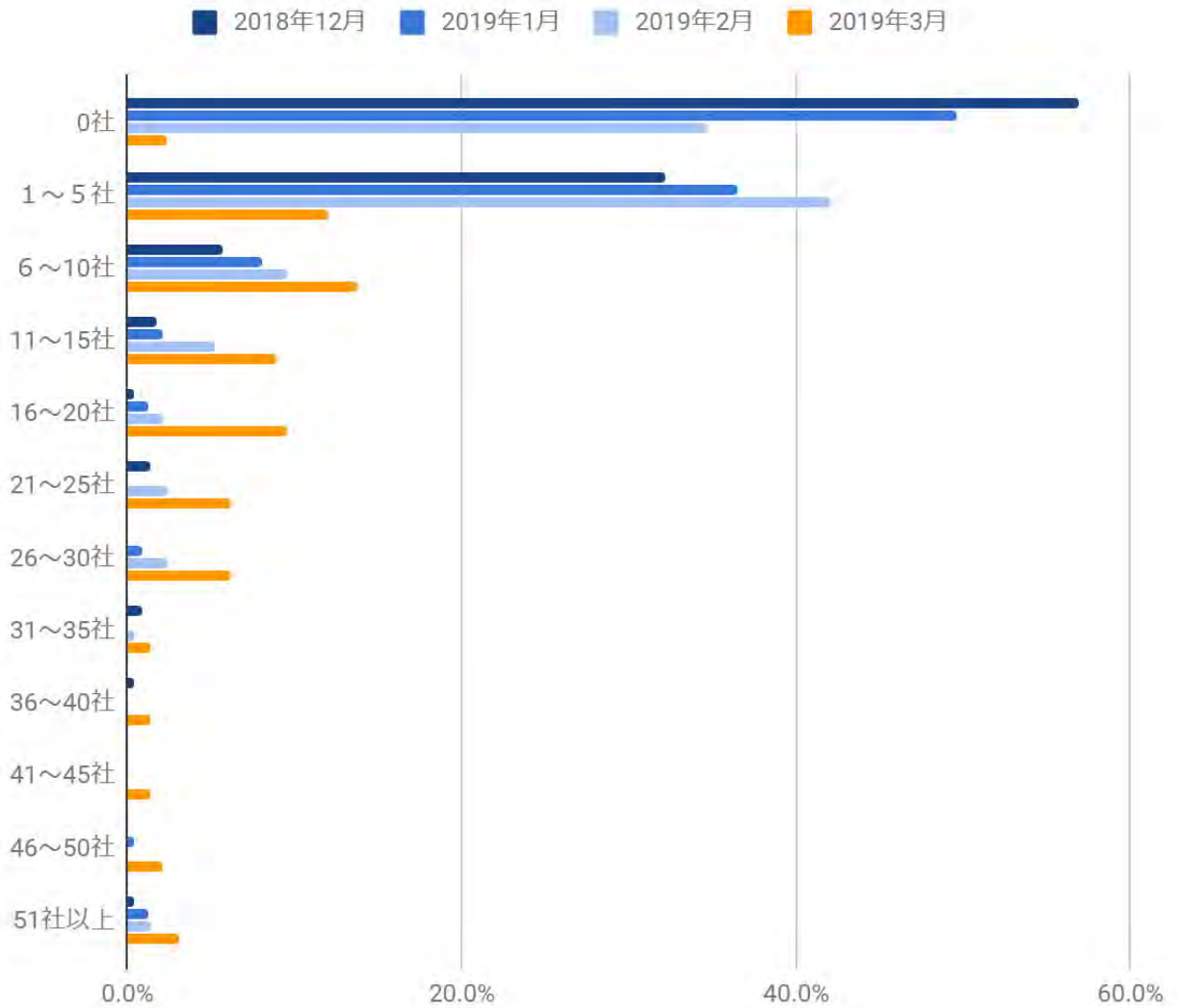
○エントリー数・エントリーシートの提出数

エントリー数については、体育会学生の中で大きなばらつきが出ました。「6~10社」と回答する学生が一番多く、実際の声としても「10社」が1つのハードルになっているようです。20社以下のエントリーをしている学生が全体の約65%であり、大学生全体のエントリー数が23.1社(※)であることと比べると、大きく少ない結果となりました。

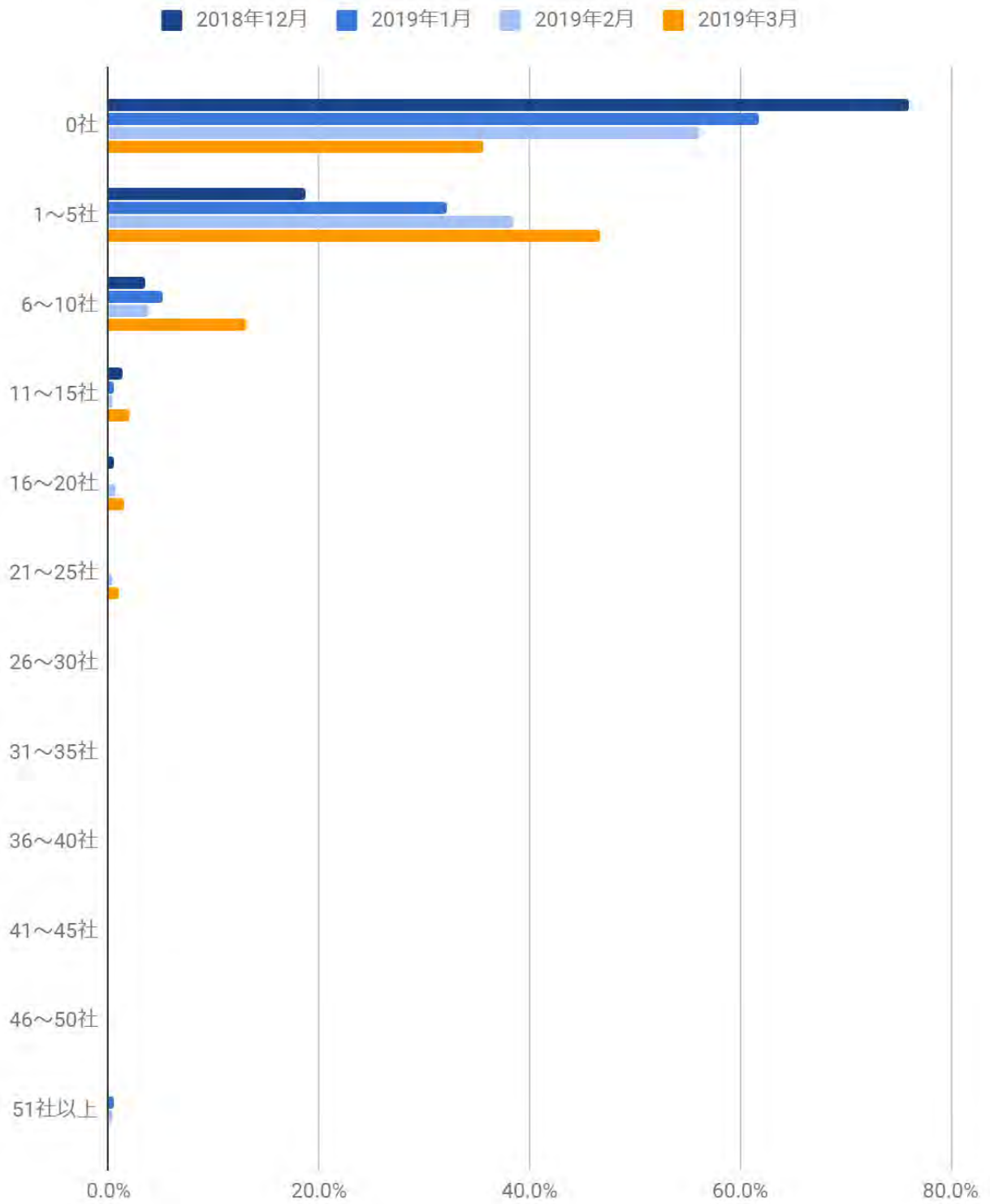
エントリーシートの提出数については、アンケート調査時(3月6日~13日)では「1~5社」と回答した学生が一番多く、まだエントリーシートの提出までに至っていないことが分かります。実際の声としても「3月中にエントリーシートの提出締切のある企業があり、現在作成している」という声をよく聞きます。

(※) 『キャリアタス就活 2020 学生モニター調査結果(2019年3月発行)』

エントリー数



エントリーシートの提出数



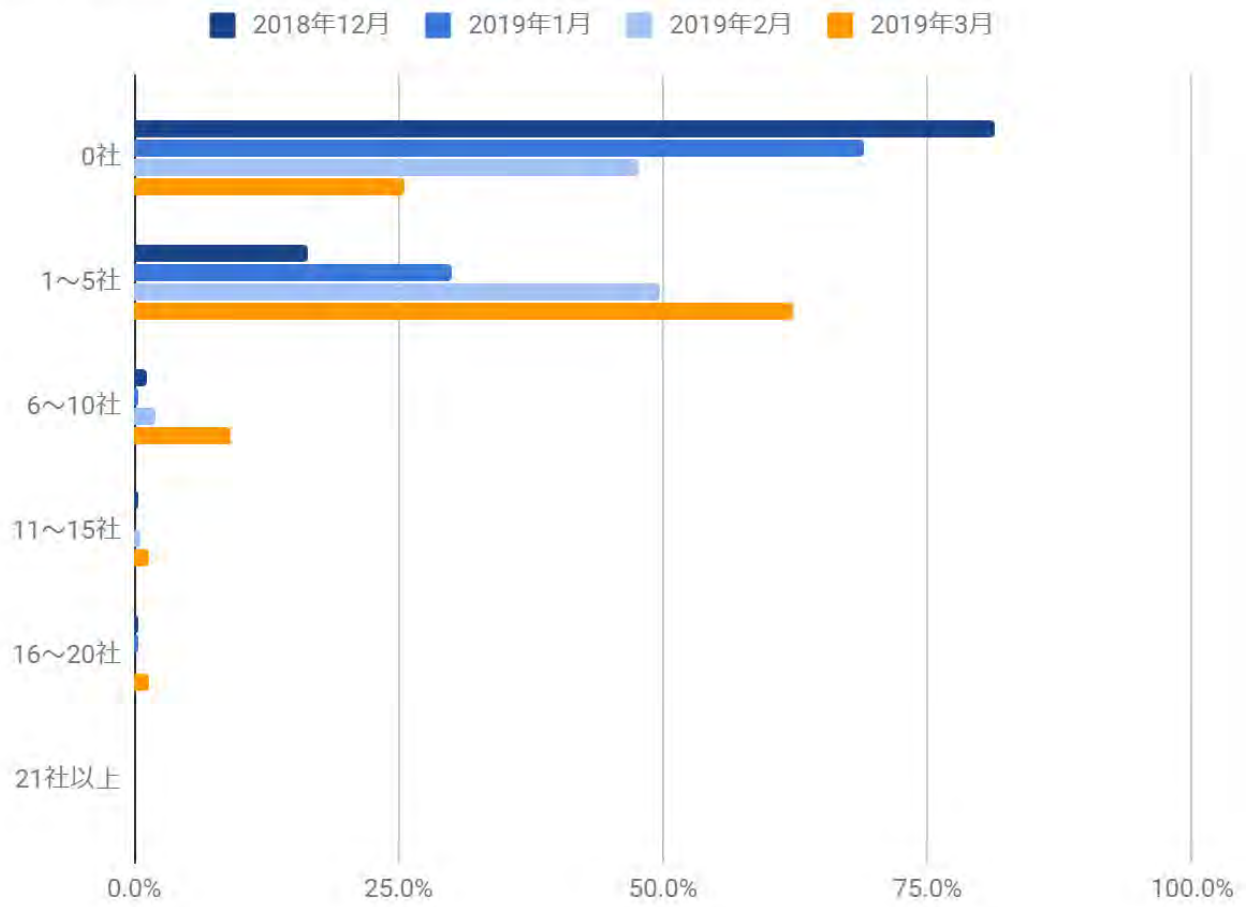
○本選考への参加・内定取得状況

本選考の参加について調査したところ、回答者全体の75%が選考に参加したことが分かります。2月の選考参加が64%であり、先月から10ポイント増加しています。3月1日の情報解禁を経て体育会学生の動きが活発になっていることが分かります。就職活動を終えたい時期についても「納得できる企業から内定が出たら終わる(6月以前)」と回答している学生が多いことから、体育会学生がスケジュールを意識し就職活動をし始めたことが分かります。

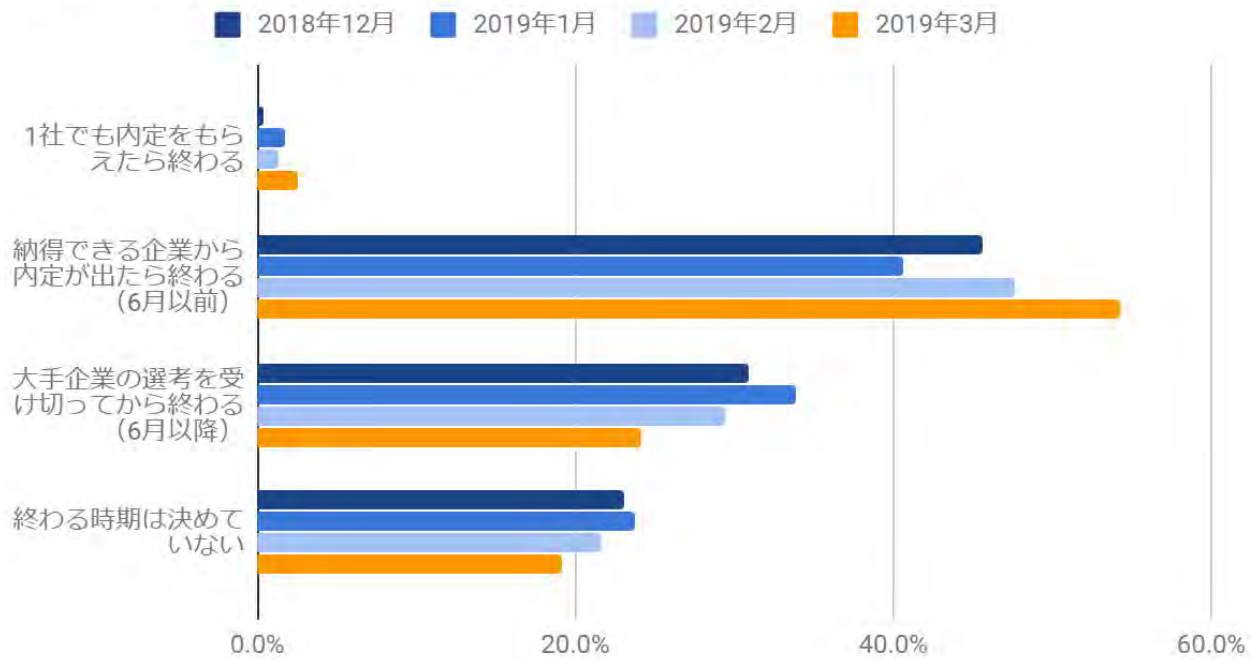
内定取得状況について、今月は21名の学生が「内定(内々定)をもらった」と回答しました。回答数からの割合としても全体の10.5%であることから、内定率の状況は大学生全体の内定率(13.9%)(※)と大きな差は見られないことが分かりました。内定(内々定)を持っている学生のうち約半数(57.1%)が「2019年2月に内定(内々定)をもらった」という回答をしていることから、早期選考をしている企業は2月から多く内定を出し始めていることが考えられます。

(※) 『キャリアタス就活 2020 学生モニター調査結果(2019年3月発行)』

選考参加数



就活を終了しようと考えている時期



◆志望する職種・業界

○志望する職種・業界

現時点での志望業界について質問したところ、上位6業界に大きな変化はなく、7番目以降の業界で大きな変動があることが分かります。第1志望の業界は変わらず、第2志望以降の業界を決める時に、様々な要因が関係していると考えられます。

TV・広告業界が2月まで下がっていて3月に上がった要因として、12月まではTV業界のエントリーが既に始まっており、3月に入ってから順位が上がったのは、広告業界を志望する学生が項目を選択したことが考えられます。

IT業界は、イメージから体育会学生が苦手意識を持ちやすい業界ですが、大きな変動はなく、中間層で推移をしています。

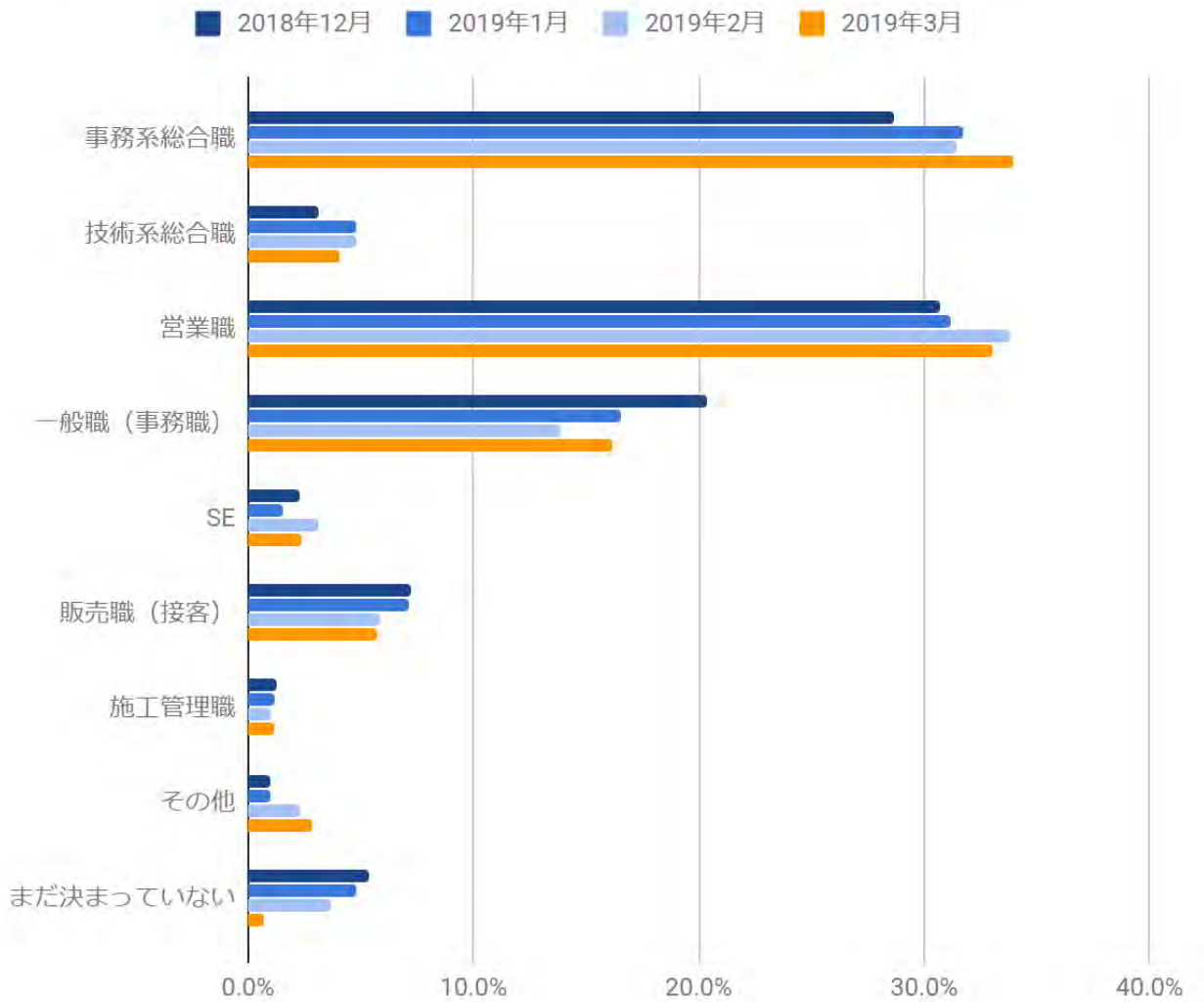
公務員を志望する学生も一定数おり、実際の声としても「地元に戻りたい」「地元に貢献したい」という声を聞きます。

志望職種について先月と変わらず「事務系総合職」「営業職」を志望する学生が多いことが分かりました。「まだ決まっていない」と回答する学生が大幅に減ったことから、体育会学生が志望職種を決め始めたことが分かります。

志望業界上位20業界

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
1	食品・飲料 27.8%	食品・飲料 30.5%	食品・飲料 28.5%	食品・飲料 29.1%
2	総合商社 24.3%	総合商社 26.3%	総合商社 23.7%	総合商社 23.6%
3	不動産・建設 22.2%	スポーツ 26.3%	不動産・建設 23.4%	不動産・建設 23.1%
4	金融 20.4%	不動産・建設 18.6%	スポーツ 22.0%	金融 21.1%
5	スポーツ 18.3%	鉄道・航空 17.8%	金融 20.6%	鉄道・航空 15.1%
6	鉄道・航空 17.8%	金融 16.5%	鉄道・航空 15.1%	スポーツ 13.1%
7	TV・広告 15.7%	IT 10.6%	コンサル 11.0%	インフラ 11.1%
8	コンサル 8.7%	旅行 10.6%	公務員 9.3%	自動車 9.5%
9	人材 8.7%	化粧品・日用品 10.2%	IT 8.9%	IT 9.0%
10	公務員 8.3%	TV・広告 8.9%	インフラ 8.9%	TV・広告 8.0%
11	旅行 7.4%	公務員 8.1%	自動車 7.6%	人材 8.0%
12	IT 6.1%	コンサル 7.6%	旅行 7.2%	公務員 8.0%
13	物流・運輸 5.7%	インフラ 7.2%	ホテル 7.2%	コンサル 7.0%
14	新聞・出版 5.7%	人材 5.9%	人材 7.2%	電気・機械 7.0%
15	自動車 5.2%	教育 5.1%	TV・広告 6.5%	化粧品・日用品 6.0%
16	インフラ 5.2%	自動車 4.7%	化粧品・日用品 5.2%	その他 5.5%
17	化粧品・日用品 5.2%	化学 4.7%	物流・運輸 4.1%	物流・運輸 5.0%
18	化学 4.8%	ホテル 4.7%	ブライダル 4.1%	旅行 4.5%
19	アミューズメント 4.8%	教職 4.7%	教育 4.1%	ホテル 4.0%
20	ホテル 4.3%	物流・運輸 4.2%	通信 3.8%	音楽・映画 3.5%

志望職種



○企業選びの軸

企業選びの軸について質問したところ、2月と比べて大きな変化は見られませんでした。12月と3月を比べると、12月は多くの項目を選択していることに対して、3月は選ぶ項目が12月と比べて少なくなりました。

12月と比べて変化がマイナスで現れたのは【創造性】【安定性】【社会的評価】【身体的活動】【金銭的報酬】【権威】【余暇】【コツコツ系】でした。特に【創造性】【身体的活動】に大きな変化が現れました。

【創造性】はクリエイティブな職種を元々志望していましたが、選考が進み仕事への理解が深まり、志向が変化してきた可能性があります。

【身体的活動】については、志望職種で「一般職(事務職)」を志望する学生が増加していることも原因として考えられます。

反対にプラスの変化で現れたのは【自主性】【社会的交流性】【挑戦】【愛他性】【成長性】でした。

特に【自主性】【愛他性】に関しては、直接学生と関わっている中で「若いうちから活躍したい」や「お客様と直接関わりたい」という考えを持っている学生の声があります。

以上を踏まえて、自己分析や企業分析をする中で、学生が大切にしたいことや譲れない方向性が定まってきていることが考えられます。

企業選びの軸

